

企業会計決算審査

各会計決算認定



田沢湖高原水沢地区の温泉分湯槽

仙北市の20年度公営企業決算内容を審査するため、市議会に公営企業会計決算審査特別委員会が本会議で設置された。

委員長 黒沢龍己

副委員長 田口喜義

小田嶋忠・安藤武・小林幸悦・八柳良太郎・浅利則夫・佐々木章・平岡均・戸澤清

■市立田沢湖病院

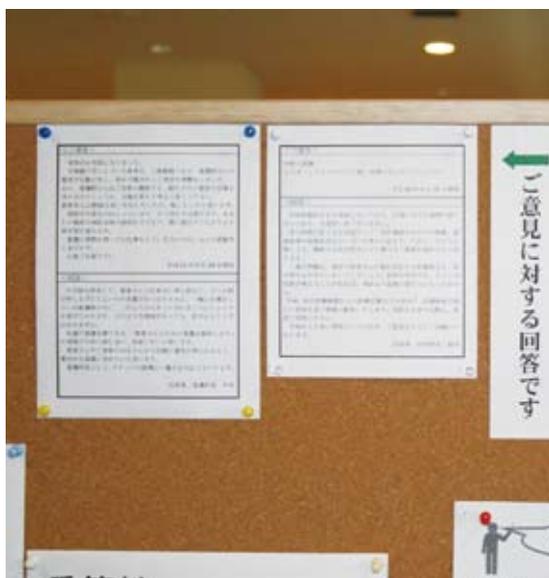
問 監査報告書でも指摘

されている医師^{しょうい}招聘のための活動実績はどうか。

答 秋田大学や秋田脳血管研究センター、岩手医科大学などに、医師の派遣依頼や情報収集のため、延べ8回の訪問による以来活動を行っている。仙北市ホームページには医師募集の掲載を行っている。

問 患者負担分の未収金の徴収見込み、不納欠損について。

答 患者負担分の未収金の徴収見込み、不納欠損



患者の意見要望に応える病院当局の回答

平成10年度から11年度の未収金では、既に亡くなられている方や、その家族も生活が苦しく、さらに秋田市へ転出されている方もいるため、徴収はかなり厳しい予想である。

問 患者へのサービス向上のため、利用者からの苦情や要望、意見等どのように把握しているか。

答 病院の待合所に投票箱を設置し利用者の生の声を把握している。投書された苦情や意見、要望については、全体会議や運営委員会で検討を行っている。

■市立角館総合病院

問 患者負担分の未収金の状況とその対策について

答 未収金を回収することとは当然であるが、事前の対策として、入院患者から入院願いの提出を求めており、その際に既に未収金がある場合には医師に報告し、誓約書の提出を求める等の対策を講じている。

問 田沢湖病院と同様に外来患者とその収益が減少しているが、この原因

をどう分析しているか。

答 患者への投薬の長期化、医療の地域連携による診療所や開業医への紹介、また、人口の自然減と昨今の不況により患者自身が病院への受診を抑制する意識などが考えられる。

問 経費節減のために積極的に努力した実績はあるか。

答 医薬材料を田沢湖病院との共同購入することで、コストの軽減を図るため医薬品目等の調整作業をしている。

問 角館病院独自のもので、対外的に誇れるものはないか。

答 世界で最初の大腸がん検診研究事業を実施中であり、医療の業界雑誌には大々的に紹介されている。院長には問い合わせもあるなど、医師確保に繋がる可能性も期待している。

答 水沢温泉郷への供給のため塚本總業株式会社と契約している。期間は5年間、口数は57口分で料金は年間933万6,600円である。

■委員から意見

引き続き安定供給を行うため施設の維持管理に努めること。

■水道事業会計

問 石線セメント管が完全に更新されるのはいつか。

答 田沢湖上水、角館上水、田沢簡水で更新工事を計画している。3地区の工事が完了すると、石線セメント管は完全に更新される。

問 未普及地域の解消は前から提起されているが、今後の計画について。

答 今年度は雲沢地区、中川地区で施工しており、未普及地解消に努めている。来年度は神代地区の一部を取り込む認可の変更申請を行いたい。

■以上の議案102号、103号、104号について意見、要望を付して全会一致で認定とした。